

依光晃一郎県政報告

『こうち県議会だより』まとめ 最終号

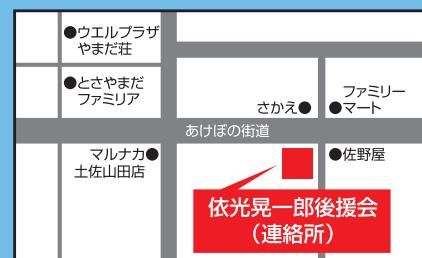
令和2年9月定例会～令和3年9月定例会

令和3年12月23日発行 依光晃一郎後援会



依光晃一郎後援会
あけぼの街道事務所
開設(令和4年3月末まで)

〒782-0047
香美市土佐山田町466-8
電話: 0887-52-9222
FAX: 0887-53-2074



ご挨拶

県議会12月定例会にて、県議会議員を辞職させて頂きました。現在、香美市長選挙(令和4年3月27日投開票)に向けて、公約づくりを進めています。後援会HPに途中経過を載せておりますので、お気づきの点がありましたら、ご意見を頂ければ幸いです。初心に返り、皆様から、ご要望をお聞きして、香美市のより良い未来のためにがんばります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



牧島かれんデジタル大臣訪問

ご要望・ご提案について、ご回答をHPに公開。

依光晃一郎後援会HP

<https://www.yorimitsu.gr.jp/>



令和3年9月定例会 一般質問(10月6日)

アクションプランに木造軸組工法を位置づけられないか

問 伝統的技術を継いだ大工などに脱炭素社会で活躍してもらうべく、高知県脱炭素社会推進アクションプランに木造軸組工法を位置づけられないと、所見を聞く。

答 知事 地域の木材等の地域素材を使つた伝統的な住宅の促進は、持続可能な林業の振興、木材移動にかかるCO₂排出量の低減、自然素材の使用による環境負荷の軽減といった面から脱炭素社会、循環型社会の構築に大変意義がある。今回のアクションプランで県産材を活用した住宅建築の推進を位置付け、伝統的な木造軸組工法を含む木造住宅の促進に取り組んでいきたい。

問 特別裁量枠予算の計上検討について

答 知事 一般論として、事業内容等を整理した上で議会で審議いただくことが適当であると考える。ご提案は、現場に近いところで裁量的な予算枠を持つて機動的に動くことも必要ではないかとの趣旨と考えるので、他県の手法の調査等も含めて本県における機動的な予算の必要性について検討していく。

令和3年6月定例会 一般質問(6月30日)

「高知家@ライン」の県内への展開を聞く

こうちけあ

平成29年度から本格運用されている「高知家@ライン」について、モル事業の成果や課題をどう捉え、どう反映して県内に広げるのか聞く。

答 健康政策部長 「高知家@ライン」は、医療機関や介護事業所など多職種間の情報連携を進めるシステムだ。

安芸圏域でのモデル事業では、医療・介護サービス担当者間で患者情報を迅速・正確に共有し、一体的なサービス提供ができるなどの効果があつた。課題として、参加事業所の増加や、より簡単な入力方法の導入などが指摘された。今年度は高知市等で導入を進め、令和4年度には県下全域で導入できるよう取り組む。

中山間地域における物流の維持について聞く

問 人口減少により採算が取れなくなる物流事業者が今後増えると聞く。このままでは中山間地域で生活するコストが高くなることも予想されるが、買物弱者対策として物流の維持に向けた所見を聞く。

答 知事 中山間地域で食料品や日用品を購入できる環境の維持は重要な課題だ。

これまで県は市町村と連携し、事業者や商工会への支援に取り組んできた。事業者からの要請もあり、来年度に向け共同配送の仕組みに関する現状・課題を整理しているところだ。こうした動きも踏まえ、中山間地域の物流の維持に向け県として何ができるか、しっかりと検討したい。

新型コロナウイルス感染症 対応の目安の改善を

問 感染症対応の目安は経済活動再開のための重要なメッセージである。曖昧さや分かりにくさを感じる現在の区分を、県民の合意が得られる形に改善してはどうか聞く。

答 知事 対応の目安のステージと外出などの行動が1対1に対応するのが理想的だが、感染拡大局面と収束局面、全国的な状況により県民へのお願いの中身は違つてくる。ステージの変更の際には、対応の目安とは別に示してきた。今後は発信する情報の内容や発信の仕方をさらに工夫していきたい。

県内事業者へのデータサイエンスの普及

問 デジタル技術のベースになる学問であるデータサイエンスを1次産業や企業がいかに経営に取り入れるかが高付加価値産業創出の鍵だ。県内に普及させるために何が大事と考えるか、所見を聞く。

答 産業振興推進部長 2つの点がポイントになる。1つ目は人材育成であり、専門的かつ長期間の学習が必要であるため高等教育機関の役割に期待する。2つ目は、いかに事業者にデータサイエンスを活用し、生産性の向上やイノベーションの創出へ取り組んでいただきたい。学びとビジネス活用の両面から後押しが必要であり、高等教育機関と連携した取組が必要になる。

令和3年2月定例会 一般質問(3月10日)

県内職員のモバイルワーク 環境の整備

問 デジタル革命による新たな働き方に向けてまずは高知県庁が変わるべきだ。県庁ネットワークが整備されない場所でも、モバイルワーク端末で仕事ができる環境の整備を行う考えはないか。

答 総務部長 行政サービスデジタル化推進計画に基づき、今年度は計200台のモバイルワーク端末を導入したい。

モバイルワーク環境の導入を空き時間の有効活用や職員の業務の効率化につなげ、県民目線や現場のニーズに沿った施策の充実につながるよう努める。

令和2年9月定例会 代表質問(9月30日)

県内職員のモバイルワーク 環境の整備

問 デジタル革命による新たな働き方に向けてまずは高知県庁が変わるべきだ。県庁ネットワークが整備されない場所でも、モバイルワーク端末で仕事ができる環境の整備を行う考えはないか。

デジタル都市計画 マップの活用

問 林業、農業分野などでデジタル地図を活用した効率的な土地利用の検討が始まっている。道路整備の優先順位、震災復興都市計画指針や災害廃棄物処理計画に基づいた土地の選定などの際も有効活用ができる。高知県デジタル都市計画マップを将来のまちづくりの基礎資料にする考えはないか。

答 土木部長 県が保有する都市計画の地理情報システムや地形と森林の境界を表した森林基本図などの重ね合わせができれば将来のまちづくりの基礎資料として有効活用できると考える。全てのマップの重ね合わせには非常に大きな労力が必要なため、地理情報に土砂災害警戒区域図を重ねるなど可能なものから取り組んでいく。

高知県議会 役職(1年間)

平成27年4月 危機管理文化厚生委員会 委員長
平成29年4月 産業振興土木委員会 委員長
平成30年4月 高知県監査委員

自民党高知県連 役職

青年局長 (平成27年6月21日～令和元年6月22日)
組織広報委員長 (平成30年5月20日～平成31年5月26日)
KOCHI自民党政経塾 塾長 (令和元年5月26日～令和3年6月1日)
政務調査会長 (令和2年3月23日～令和3年5月30日)

自民党青年局(全国)役職

中央常任委員会 議長(平成30年10月9日～令和元年9月13日)
(全国の都道府県連青年組織の代表者で構成し、青年局の活動や運営について審議決定する機関)

<http://youth.jimin.jp/>

議会質問の全文を、
後援会HPで見ることができます。
是非ご覧ください。

<http://yorimitsu.gr.jp/>

